

2018年10月25日

受益者の皆さまへ

三井住友アセットマネジメント株式会社

USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド

USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド（為替ヘッジあり）

の基準価額下落について

（10月25日の基準価額の変動要因についてのお知らせ）

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年10月25日、以下のファンドの基準価額が前営業日比5%以上の下落となりましたので、要因等についてご報告致します。

1. 基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドの名称とその状況

ファンド名	基準価額（円） （2018年10月25日）	前営業日比（円） （2018年10月24日比）	変動率
USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド	16,065	-967	-5.68%
USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド（為替ヘッジあり）	12,486	-671	-5.10%

2. 基準価額の変動要因等について

10月以降、米国と中国の貿易摩擦の長期化懸念や、サウジアラビアを取り巻く地政学リスク、米国大統領中間選挙を控えての様子見ムードなどから、株式市場が調整する傾向にありました。24日の米国株式市場は、NYダウが2.41%下落し、翌日の日本株やアジア株式市場へ売りが波及しました。特に、米ナスダック市場が4.43%の下落と、テクノロジー銘柄の多くが売られる展開となり、これまで、相場の牽引役だったFAANG銘柄（フェイスブック、アマゾン、アップル、ネットフリックスおよびグーグル）が、軒並み売られたことも、相場の足を引っ張りました。

足元では、テキサスインスツルメンツやAMDといった半導体銘柄において、市場予想を下回る四半期決算が発表されたことも、当ファンドで多く保有する半導体関連銘柄の下落要因となりました。

3. 今後の見通し

米国企業の業績は引き続き良好で、7-9月期の四半期決算でもその多くが市場予想を上回る好決算となっています。24日の米国株式市場でも、ボーイングの良好な四半期決算を材料に、NYダウは一時プラスで推移するなど、米国企業のファンダメンタルズに特に変化はありません。25日にアルファベット、アマゾン、来週にはフェイスブックとアップルの四半期決算が予定されており、投資家の注目度も高いことから、短期的にはボラティリティの高い相場環境が続くものと思われます。特にFAANG銘柄の大半は、年初来株価が大きく上昇しており、短期的な売りが出やすい状態になっています。しかしながら、当ファンドでの長期的な見方は変わっておらず、革新的なテクノロジー銘柄が一時的に調整する局面では、逆にバリュエーションの水準調整とみて、買いの好機になる可能性があると考えています。

以上

【当資料のご利用にあたっての注意事項】

- この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した当社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更されることがあります。